

かながわの交通

2022
6月号

交通安全年間スローガン受賞作品(全日本交通安全協会会長賞)
～こども部門～ 中学生以下への交通安全を呼びかけるもの

ヘルメット かぶるだけでも 救える命



二輪車交通事故防止強化月間等ポスター



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵! 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

歩行者
事故
多発!

○県内の交通事故発生概況(令和4年5月末現在) ○県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死 者 数	傷 者 数
令和4年		8,333	45	9,586
令和3年		8,769	45	10,105
増減数		-436	±0	-519
増減率		-5%	±0%	-5.1%

	総 数	男	女
県 人 口	9,234,172	4,580,487	4,653,685
免 許 人 口	5,650,583	3,210,842	2,439,741
割 合	1.6人に1人	1.4人に1人	19人に1人



(県人口は令和4年5月1日、免許人口は令和4年4月末現在)

受賞おめでとうございます

関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会长連名表彰

交通安全功労者、優良交通安全協会、交通安全協会優良職員に対する関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会长連名表彰等の受賞者(団体)が決定しました。

なお、5月20日(金)開催予定であった表彰式は中止となりました。

本県の受賞者(団体)は次のとおりです。

●交通安全功労者(関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会长連名表彰)(以下敬称略)

加賀町交通安全協会	程島 正雄	三浦市交通安全協会	井戸 幸隆
金沢交通安全協会	服部 次男	藤沢市交通安全協会	府川 幸雄
(一社)南交通安全協会	中馬 秀一	藤沢北交通安全協会	大野 英二
鶴見交通安全協会	不動田 昌弘	(一財)平塚市交通安全協会	落合 重雄
保土ヶ谷交通安全協会	矢部 恵一	足柄交通安全協会	嘉山 由之
緑交通安全協会	河原 進一	秦野市交通安全協会	牛村 昭
青葉交通安全協会	鈴木 洋	厚木警察署管内交通安全協会	内田 照夫
栄交通安全協会	森 雅宏	大和綾瀬交通安全協会	石原 幸美
(一社)川崎臨港交通安全協会	高橋 健二	座間交通安全協会	川口 和義
(一社)高津交通安全協会	竹仲 密昭	相模原交通安全協会	中野 正
宮前交通安全協会	杉田 進	相模原北交通安全協会	霧生 隆
(一財)多摩交通安全協会	野村 昇	津久井交通安全協会	菊地原 勉
(一財)横須賀交通安全協会	森 隆雄		



(一財)多摩交通安全協会
野村 昇様

●優良交通安全協会(関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会长連名表彰)

○伊勢佐木交通安全協会	会長 依田 龍治
○(一財)中原交通安全協会	会長 伊藤 稔
○(一財)鎌倉交通安全協会	会長 野村 修平
○厚木警察署管内交通安全協会	会長 笹生 準一

●交通安全協会優良職員(関東交通安全協会連合会会长表彰)

○緑交通安全協会	小林 宣江
○青葉交通安全協会	宮内 緑
○(一財)横須賀交通安全協会	草間 リエ子
○三浦市交通安全協会	青木 緑子
○葉山町交通安全協会	高橋 正一
○(一財)平塚市交通安全協会	渡邊 直美
○津久井交通安全協会	大場 順子

第37回 理事会(令和4年度事業・決算)結果報告

令和4年度、第37回理事会が5月18日(水)県協会会館において開催されました。

石坂会長をはじめ理事等20名が出席する中で、「令和3年度神奈川県交通安全協会事業報告」及び「令和3年度神奈川県交通安全協会決算報告」等について審議され、いずれも原案どおり承認されました。



令和4年度使用交通安全スローガンポスター

内閣総理大臣賞

一般部門A 運転者(同乗者を含む)
へ呼びかけるもの



尾関 裕美(愛知県)

内閣総理大臣賞

こども部門



埼玉県越谷市立大沢北小学校2年
兒玉 紗知

内閣総理大臣賞

一般部門B 歩行者・自転車利用者
へ呼びかけるもの



井上 信宏(佐賀県)

最近の交通死亡事故の傾向について

令和4年4月中の県下交通死亡事故等の傾向です。悲惨な交通事故は他人事では無く、自分や御家族も巻き込まれる可能性があることから今後の参考としてください。

○ 4月中の交通事故発生状況

発生件数 1,786件(増減数 前年比-135件) 死者数 4人(増減数 前年比 -5人)

負傷者数 2,075人(増減数 前年比-171人) 交通事故発生件数等は全体的に昨年4月より減少傾向でした。

○ 4月中の交通死亡事故の傾向

- 歩行者の死亡者が3人(前年比+2)と増加しました。歩行者は左右の確認を確実にしましょう！
- 人と車両の衝突事故での死者は2人(前年比+2)と増加しました。安全確認の励行。横断歩道を渡りましょう！
- 年齢別で見ると16~19、40~49、65歳以上の方が亡くなっています。若手からベテランまで、漫然運転に注意！歩行者は周囲の安全確認を！
- 地域別では横浜市中心部、北部、相模原市、三浦湘南で死亡事故が発生しました。交通事故は場所を選びません！
- 時間帯別で見ると、16~22時の間で死亡事故が発生しました。薄暮時間帯、早めの前照灯点灯。目立つ服装、反射材の着装を！
- 曜日別で見ると、火曜、木曜の週の中日に発生しています。運転中は常に緊張！休養・睡眠は十分に！
- 事故を原因別で見ると、前方不注視、安全不確認により事故が発生しています。指差し呼唱、オペレーター・同乗者との連携を！

危ないよ スマホじゃなくて 周り見て

九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間の結果

令和4年5月1日(日)から31日(火)までの1か月間、「九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間」を実施しました。

重点 1 自転車交通ルールの遵守とマナーの向上

2 自転車点検整備の促進と自転車損害賠償責任保険等の加入義務の周知徹底



(中原交通安全協会・元住吉ブレーメン商店街)

○ 県内の自転車交通事故発生概況(4月末)

△	自 転 車 事 故		
	発 生 件 数	死 者 数	負 傷 者 数
令和4年	1,681 件	3 人	1,609 人
令和3年	1,843 件	3 人	1,758 人
増 減 数	-162 件	±0 人	-149 人
構 成 率	25.4%	9.4 %	21.2%

※ 構成率は、令和4年交通事故累計(概数)に占める自転車事故の割合を示す。

～「自転車損害賠償保険等の加入」が神奈川県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例で義務化されています～

県内では自転車と歩行者の関係する交通事故が増加しており、重大な事故も発生しています。また、全国では自転車事故の加害者に対し高額な損害賠償を請求される事例もあります。

自転車の安全で適正な利用と自転車事故の被害者を速やかに救済し、加害者の経済的負担を軽減するため、「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が制定され2019年4月から施行されました。



《自転車会員入会およびサイクル安心保険加入のご案内》

全日本交通安全協会では「自転車利用者の交通安全意識を高め、自転車による交通事故を防止し、自転車の安全利用の実現に寄与することを目的として自転車会員制度」を行っております。

自転車会員は、自転車利用に関する情報の提供を受けられる他に、会員専用の団体保険制度「サイクル安心保険」へもご加入いただけます。

- サイクル安心保険・補償額は最高3億円
- 自転車事故は約6分32秒に1件発生しています。

・申込み等詳細は、一般財団法人全日本交通安全協会ホームページをご覧ください。



全日本交通安全協会 自転車会員 検索 ←

「第52回 二輪車安全運転神奈川県大会」開催結果

5月28日(土)神奈川県警察運転免許センターで「第52回二輪車安全運転神奈川県大会」が万全な感染症対策のもと開催されました。

開会式では、長澤大会副会長、県警察本部 川名交通部長の挨拶の後、競技説明、選手宣誓があり A、B、シニアクラスに分かれ法規履行走行と技能走行を競いました。クラスごとの入賞者は次のとおりです。

★個人総合優勝 (以下敬称略)

居林 哲平

○ Aクラス(51cc以上400cc以下)

・優勝 居林 哲平

○ Bクラス(401cc以上)

・優勝 佐藤 正章

○ シニアクラス(125cc以上400cc以下・60歳以上)

・優勝 高間 欣也



(高間選手 佐藤選手 居林選手)



極小バランス走行



コーナーリング走行

優良二輪車安全運転指導員表彰

第52回二輪車安全運転神奈川県大会の当日、長年にわたり二輪車安全運転の指導員として、二輪車の交通事故防止に貢献された二輪車安全運転指導員の松園 恵さん、山崎卓也さん(写真)に、(一財)全日本交通安全協会からの楯と記念品、神奈川県二輪車普及安全協会からの記念品が贈られました。

(左から山崎さん、松園さん)



「金沢区自転車マナーアップ小学生大会」が開催されました

5月15日(日)金沢地区センターで「金沢区自転車マナーアップ小学生大会」が万全な感染症対策のもと開催されました。

横井金沢交通安全協会会長、小澤金沢警察署長の挨拶の後、5校13チーム52名による学科、安全走行テストが行われました。来年の県大会出場に向けて、今後も安全運転の励行をお願いします。選手の皆様は、ご苦労様でした。

【優勝】

小田小学校Cチーム

(学科の様子)



(安全走行・会場の様子)



交通事故の悲劇に学ぶ ⑩

●「忘れない」

T・R 学生 (20代)

ある年の12月、世間では仕事や忘年会で一年の中でも一番忙しくなると言つても過言ではないこの時期、当時学生だった自分も同じく多忙を極めていました。

自分は小さい頃からとにかく車が好きで、将来は自動車に関する仕事に就きたいと思い、自動車整備士の資格が取得できる学校に進学しました。

その自動車整備士の試験が目前に迫つており、さらには、学校の期末試験の最中での出来事でした。

事故当時の記憶は、事故の衝撃で全く思い出せないのですが、後日、警察の検証で明らかになったことは、日付が変わろうとする深夜、二輪車の後部座席に友人を乗せ、自転車専用レーンもある広いバス通りの信号の無い直線道路を時速 120 キロメートル前後の高速で走行して、道路を横断していた被害者の方と接触事故を起こしたということです。

この事故で、被害者の方は翌日に亡くなり、自分と同乗していた友人は、事故の衝撃で道路に投げ飛ばされ重傷を負ったのです。

私が、病院のベッドで目を覚ましたのは、事故から数日経つてからだと思います。

その時は、何が起きたのか事態がわからず、頭の中が真っ白でした。

カレンダーや時計すら見る余裕がなかったので、自分が覚めたのが何日の何時なのかも分かりませんでした。

そんな状態でいると、病室に親が来て事故を起こしたこと、被害者の方が亡くなられたこと、同乗していた友人も重傷で入院していることを話してくれました。

私は、それらのことを聞かされた時は、あまりのことの大きさや事故に関する記憶が無いことから現実感が湧かず、最初は嘘ではないか、嘘であってほしいと思っていました。

しかし、自分の身体が傷だらけで、水の入ったコップを持つことすらきつい状態であることから、だんだんと自分が起こしたことに実感が湧いてきました。

それと同時に、「取り返しのつかないことをしました」という、とてつもなく大きな罪悪感とともに、当時すでに大手ディーラーのメカニックとして働く内定をいただいていたことから、長年夢見て、やっと掴んだ夢すら失う失望感で一杯になりました。

日が経つに従い、事故を起こしたことで家族をはじめ友人、学校といった周りの方々に多大な御迷惑をか



イラストは本文とは関係ありません

けたのに、どうすることもできない自分に苛立ち、絶望感に押し潰されそうになっていました。

しかし、いつまで思い悩み苦しんでいても、辛いのは自分で、御遺族への償いには何一つなっていないことに気付きました。

そして、取り返しのつかないことの中にも、何か自分で被害者のために出来ることがあるのではないかと思い、事故現場に献花をさせていただき、御遺族のご自宅へも伺い、謝罪をさせていただきました。

それでも、許してもらえないのは当然のことで、何一つ受け入れてもらえませんでした。

そして、無免許過失運転致死、無免許過失運転致傷、自動車損害賠償保障法違反で懲役 3 年の受刑生活が始まりましたが、毎日、被害者の方を忘れることなく謝罪の気持ちを持ち続けています。

御遺族には、自分の謝罪の気持ちや、これからどう償っていくのかを書き綴った手紙も送らせていただきました。

返事をいただけることはことはありませんが、自分の気持ちが少しでも伝わることを願っています。

また、受刑生活での改善指導において、交通事故で被害者となられた御遺族の方とお話しをさせていただく機会がありました。

そこで、沢山のお言葉をいただき、御遺族のお気持ちや、加害者に対してどのように思っているのか、ということを知ることができました。

これからは、今までよりも更に御遺族の方の視点に立って考え、償いを行っていきます。

そして、今までの考え方へ受刑生活で学んだことを加えることで、御遺族の方から受け入れていただける償い方を考え、実行したいと思っています。

わたらうか 迷う気持ちは 赤信号

この人
194



中村 昌弘さん
（財）横須賀交通安全協会
会長



一般財団法人横須賀交通安全協会会長の中村昌弘さんは、平成5年に先輩諸氏からのお誘いを受けて理事を受諾、以後、副会長を経て平成24年に会長に就任しましたので、この6月に会長としての活動が丁度10年目の節目を迎えます。

横須賀市の地形は、山坂やトンネルの多いのが特徴で、身近な交通事情は自転車よりも二輪車の利用が多いことです。

昨年、市内の交通事故を見ますと、二輪車による事故の発生が全体の33.5%を占めており、一昨年に比較すると11%も増加するという由々しき事態です。

また、全国的な特徴になりますが、横須賀も高齢者の係る事故が多く、昨年は発生事故の40%を超えるました。

このような情勢の中で中村さんは、二輪車販売店を経営するかたわら、二輪車運転者の安全運転指導を行うため特別指導員の資格を活用し、横須賀二輪車安全普及協会の活動を通じて長年にわたって地元二輪車販売店の指導員の皆様方と協

力し、二輪車安全運転講習会の開催など二輪車事故防止活動を活発に行ってています。

また、高齢者の係る交通事故を1件でも減少させるため、警察や協会員、交通指導員の皆さんと一緒に交通安全を呼びかけながらの反射シールの配付活動などにも熱心に取り組んでいます。

中村さんは「日本の交通安全教育は、諸外国に比べて遅れている。より良い交通社会人を多く育てるには、できるだけ幼少期から一貫性を持った教育が必要だ。交通事故の撲滅は、官民一体となった繰り返しの活動により、多くの方々に訴え理解してもらうことが大切ではないか」と話しています。

これからも警察や市、関係団体の協力をいただきながら、横須賀の地域性に合った活動を辛抱強く展開し、悲惨な交通事故を1件でも減らすような活動を展開していきたいと意気込みを語っています。

(取材協力：(一財)横須賀交通安全協会)

ここにちは「(一財)旭交通安全協会」です

旭区は、横浜市のほぼ中央に位置し、昭和44年に保土ヶ谷区から分離し、当協会は旭区が誕生すると同時に誕生しました。

当協会は本年で50周年を迎え、令和3年10月1日に、これまで任意団体であった「旭交通安全協会」を法人格である一般財団法人旭交通安全協会に移行いたしました。

法人化移行の趣旨は、公共性や公益性また信用性のある協会としての機能を有し、近年では、個人会員や団体会員等が減少傾向にあり、今後の安定した運営環境を考慮し、公益財団法人神奈川県交通安全協会や一般財団法人横浜市交通安全協会さらには行政、公共団体及び地域の各種団体との協力体制や連携が重要視されてきております。

移行後の11月には市内20協会を訪問し、事業や活動の様々な取組をご教示していただき、企業等からの支援を受けている協会も多数あり、当協会の今後の運営への参考になりました。

法人化に伴い広報手段として独自にホームページも開設いたしました。

それでは、当協会が実施している活動について紹介いたします。

「はまっ子交通安全教室」について旭区内に小学校が25校あり、令和3年度は4月から7月の夏休み前に掛けて全校で実施することが出来ました。

校庭での衝突実験、交差点での内輪差実験や教室でのDVD鑑賞をし、児童と交通指導員との質疑応答等を行い有意義な活動でした。

さらに「交通安全活動」ですが、新入学児童の見守りを入学式当日2校の小学校の正門で旭警察署交通課員の指導により実施しました。

また、日常各地域の横断歩道で児童の登下校の時間帯に安全誘導などの見守りを交通指導員が率先して行っております。

次に、「高齢者交通安全教室」ですが、6月と10月に鴨谷公園多目的広場で旭区老人クラブ主催のスポーツ大会の時間を割いて、衝突実験や斜め横断体験また旭警察署交通課員に



よる講話を各二回に亘り実施し、多くの方々に参加していただきました。

また、11月の二日間を要して鴨谷公園多目的広場でシルバーセーフティスクールを実施し、更に12月に同会場で死角巻込み実験や旭警察署交通課員の講話による自転車の安全な乗り方の指導を実施しました。

「交通安全運動」ですが、春・夏・秋・年末の交通安全運動期間中、主要駅でのキャンペーンや協会広報車で区内巡回を実施しました。

その他の交通安全運動としては10月1日から31日まで放置自転車・バイククリーンキャンペーン、12月1日から31日に飲酒運転根絶強化運動キャンペーンを主要駅商店街で行いました。

また、12月10日に旭警察署前でハンドブレートによるキャンペーンを実施しました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら活動を行ってきましたが、実施についてはそれぞれ大変困難な状況がありました。

これからの協会活動としては、役員・事務局はもとより、交通指導員も含めて会員の加入促進に努め、旭警察署、旭区役所の協力をはじめ、区内連合自治会・町内会等、区民への交通安全に対する啓蒙活動を行うなど、交通事故防止活動を積極的に推進して行くことといたします。

(事務局・大野 手記)

地区交通安全協会の活動紹介



戸 部 横浜駅東口交通安全キャンペーン



川 崎 大師地区における交通安全キャンペーン



南 交通安全キャンペーン



藤 沢 市 交通安全キャンペーン

交 通 安 全 活 動



伊勢佐木 交通安全キャンペーン



海老名市 交通安全キャンペーン



都 筑 ランドセルカバー・ファイル贈呈式



厚木警察署管内 高峰小学校での交通安全教室

贊 助 会 員 の 紹 介

このコーナーでは(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています(敬称略)。

- (株) 横浜銀行本店人材部 横浜市西区
- キリンビール(株) 横浜工場 横浜市鶴見区
- 日産自動車(株) 横浜工場 横浜市神奈川区

贊 助 会 員 入 会 の お 願 い

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で快適な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。交通事故防止活動に賛同していただける「賛助会員」としての入会をお願いいたします。

イ ン フ ォ メ ー シ ョ ン

- 夏の交通事故防止運動 7月11日(月)~20日(水) 各 地 区
- 表彰審査委員会 7月15日(金) 県協会会館